

道徳 小学校第5学年 『知らない間の出来事』

自分の考えを交流する場面での活用

書き込み

外部出力

外部ソフト連携

デジタル教科書ならではの特長の1つに、書き込んだ意見を即時に全体共有できる点が挙げられる。

本実践では、性差についての考えや男女が互いの存在に感謝する経験を出し合う場面においてデジタル教科書を活用した。資料文中の気になる部分にラインを引いたり、気づきを書き込んだりした上で、テキスト形式の付箋を貼り付けて考えをまとめさせた。また、その画面をスクリーンシ



付箋やラインを書き込んで全体共有する準備をする様子

ョットした画像として提出させ、アプリを使って共有させることですぐに他の人の考えを確認することも可能にできた。さらに、同じ班の仲間の画像を選択比較することで小グループでの話し合いをさせたり、意図的に指定した画像を画面配信したりすることで学級全体での話し合いにもつなげることができた。

道徳 小学校第5学年 『ヘレンとともにーアニー・サリバンー』

自分の考えを交流する場面での活用

書き込み

動画再生

資料閲覧

本教材は、信念をもち、くじけず努力を重ねるアニーの生き方を共感的に理解することを通して、より高い目標を持ち、困難があってもくじけず努力する道徳的実践意欲を培うものである。児童の多くはヘレン・ケラーについての知識がなかったため、導入では、デジタル教科書からインターネットに接続し、来日したときのヘレン・ケラーの動画を見せながら解説を加え、ヘレン・ケラーの人物像を押さえた。



ヘレン・ケラーの動画を見る様子

本文を読み深めていくにあたっては、アニーの生き方を共感的に捉えるために、挿絵を拡大してデジタル教科書の付箋部分にアニーの思いを書かせた。付箋に書き込んだ思いをもとに意見交流することで、児童は、くじけず努力し続けることの大切さや、それを支える強い意志が必要であることに気づくことができた。

道徳 小学校第6学年 『客には言わんのですか』

読み取りの場面での活用

書き込み

外部出力

本教材は、「厳しいしつけ」を受けたはずの子どもが、両親にはきちんと挨拶をして、来客は無視をしてしまうという礼儀の本質である心と形の一体化が見られない話であり、礼儀の問題を追究することを通して、本当の礼儀とは何かを考える教材である。

4コマ漫画調で表される教材内の発言についてデジタル教科書を用い、その裏にある心情や思いをふき出しとして記入し、主人公や両親の思いに迫るよう取り組んだ。その思いを色分けして記入することが簡単に操作できるため、色の違いで価値の重要性を見ることができ、可視化することで児童の考えを深めることができた。さらに、デジタル教科書に書き込んだ内容を投影し、比較することで児童の考えをより深めることができた。



ふき出しに書きこむ児童

道徳 小学校第6学年 『気に入らなかった写真』

自分の考えを交流する場面での活用

書き込み

外部出力

漫画形式の教材である。

友だちと遊びに行ったときの写真を、友だちの了解を得ずにインターネット上に勝手に投稿したことにより、トラブルに発展するという内容である。

どの部分に問題があったのかを各自で考え、問題点があると考える箇所に児童一人一人がデジタル教科書上でマークを入れた。

次に、各自がマークした箇所をスクリーン上に写し、お互いの考えを交流した。自分以外の人がどのように考えているのかが分かりやすかった。



教科書にマーカーをしている様子

道徳 中学校第1学年 『美しい母の顔』

読み取りの場面での活用

拡大縮小

書き込み

道徳の授業では、主に挿絵の拡大や発問する部分に線やマーカーを引くなどの活用をした。普通の教科書では、線を引く部分を間違えると修正することが難しいが、タブレット教科書では何度も線やマーカーを引き直すことができるので、安心して活用できる。

また、色を使い分けたり、スタンプを活用したりすることで、中心発問を分かりやすく提示できた。本文に関しては、自分の読みやすい大きさに拡大することができるので、文字が見にくい生徒にとっては非常に助かる機能である。準備の面では、挿絵を印刷し提示していたが、デジタル教科書に挿絵があり、拡大することができるので準備の負担が軽減された。



タブレットに書き込みを行う様子